

2022 年度学校関係者評価委員会報告書

学校評価委員会（自己点検・自己評価）の第一回学校関係者評価を行いました。
その結果を下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員会

- ・評価委員……久留米信愛短期大学 教授（学識経験者）
筑後市立病院 看護部長（企業等委員：専門分野関係者）
川崎病院 看護師 主任（卒業生：同窓会役員）
学生保護者（PTA：看護科学生保護者）
- ・学校……… 医師会長・学校長
副学校長
准看護科 教務主任
看護科 教務主任
事務次長（進行）

2. 日時：2022年7月29日（金）19：00～20：15

場所：会議室

3. 議題

- 1) 八女筑後看護専門学校 自己点検・自己評価について（副学校長）
これまでの取り組みの経緯について
・准看護科、看護科の自己点検自己評価結果は、ホームページにて公表
- 2) 2021年度学生状況について（副学校長）
- 3) 2021年度准看護科評価結果について（准看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 4) 2022年度准看護科重点課題について（准看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 5) 2021年度看護科評価結果について（看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 6) 2022年度看護科重点課題について（看護科 教務主任）
・ホームページにて公表

7) 意見・質疑応答

質問・意見（評価委員）	回答・意見（学校側）
<p>1) 卒業時のカリキュラムに関する学生アンケートの設問で「専門的な知識が身についた」「専門的な技術が身についた」とあるが、学生の時に専門的な知識・技術が身につくとは、どのレベルが考えられるのか。</p>	<p>学生が考える目標達成レベルと考える。知識や技術の到達度を数値で示して確認しているのではなく、あくまでも学生の主観で答えてもらっている。今度のカリキュラム改正で、技術については到達度が示された。</p>
<p>2. 同上アンケートで「就職に向けた支援に満足か」の設問で、2020年度は満足度の肯定的意見が45%と半数を切っていたのが、2021年度は72%に改善している。どのような取り組みをされているか。</p>	<p>毎年実習病院に就職した卒業生を招いて、実習への取り組み方、国家試験の学習の仕方、就職に向けた取り組み等を話していただいている。</p> <p>また、業者（マイナビ）から、病院の職員募集の現状や就職状況、履歴書の書き方等の講義を行っている。</p> <p>ただ学生には、このことが就職支援だと伝わっていなかった為、2021年度は就職支援であることを説明したうえで実施した。教員も個別に面接や履歴書の書き方の指導や相談等、意識して関わる時間を設けた。</p> <p>また、医師会立の学校であることから、就職活動については学生主体の活動を基本としている。2020年度は特にコロナ禍での就職試験がZOOMに変更となり上手くいかなかった学生がいたことも影響している。</p>
<p>3) コロナ禍の中、制限がある中で、きめ細やかな教育に先生方の努力が伝わり、学生の状況も理解できた。手のかかる学生が増えているということは、教育力も問われていると思う。</p>	

<p>4) 昨年実習着の提案をし、見直しをしていただいたことに感謝する。学生もテンションが上がったと聞いている。</p> <p>しかし、教員と学生の絆が薄いように感じる。</p> <p>質問しても「自分で考えなさい」と言われ、後のフォローがない。何が正解で不正解かわからない状況である。「わかりますよね」と言われると、「わかりません」と言えないなど、学生が教員との関係で悩んでいると聞く。</p>	<p>本校は看護職を養成する使命の基、学生の教育にあたっている。医療や看護の現場は、生命と向き合う患者や家族がおられ学生と言えども責任感を持って実習させて頂いている。</p> <p>教員は現場の厳しい状況の中、資格取得に向けて指導する上で、教員の表現の仕方で誤解をまねくような発言があったのかと思う。教員間で共有し、学生が理解できるよう改善していきたい。</p>
<p>5) 精神面の弱い、コミュニケーションが取れない職員が増加している。</p> <p>2～3年での離職率も増えている。</p>	<p>就職するにあたり、不安が大きいのが分かるが、話す時間を作り出せず、申し訳なく思っている。</p> <p>悩みや不安を抱えている学生に寄り添うという思いと、看護職に求められる自己判断能力の育成、芯の強さが必要な職業柄、厳しさも教えなければならず教育的に難しい状況がある</p> <p>コロナ禍の中、学生から「他校は実習に行かなくてよく、簡単に卒業できる」「本校は厳しい」という声を耳にする。しかし、今年の卒業生の声で、厳しい指導のおかげで就職して即戦力として勤務できることに感謝の声を聴くことができ、嬉しく思っている。学生のうちに苦労したことが力となる。就職した後、看護師として働き続けられる力をつけることが大事である。</p> <p>本校の強みは、知識・技術をしっかり身につける事だと思っている。</p> <p>患者背景が変わってきている今、カリキュラム改正を受け、地域の特性を活かした所に力を入れて指導をしていきたいと思う。</p>